

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ2	出席委員数	5 / 6 名
日 時	平成28年 8月31日（水） 13時00分～15時00分		
場 所	2階 第1会議室		
【協議事項】（テーマ等）			
1. ご近所をいかに知るか （シルバー世代の人材活用データベース） シルバー人材センターは全国の地域ごとに存在するが、中には派遣事業の届出をしているところもあったり、公益財団法人であったりと、その取り扱う業務の種類や運営の形は様々である。従来は簡易な請負・委任業務のみを扱っているが、会員に対する「職業紹介事業」としての役割も担っているときく。 北方町においても、定年退職後の世代がその知識や技術を生かして地域貢献したり、相互交流したり、生き生きと活動するには、町のシルバー人材センターの事業を発展させて、それに絡めて考えていくのいいのではないだろうか。力を生かせる人材をたくさん集めて、データベースをつくる必要があるが、町のホームページに会員募集の案内を載せるなど協力してもらいたい。他市町村のシルバー人材センターの例を見ると利用者（仕事を頼む側）は市町村内に限るとしている例があるが、北方町では、あえて制限を設けなくて、広域的（本巢・北方・瑞穂）に活動できると思う。 （その他） 「井戸端会議」ができるような場所や活動が必要。定年後の男性は特に機会がないと集まらない。毎年の道路河川の美化運動は、清掃自体も大切だが、ご近所との交流の機会でもあるので、そのような行事はもっと回数があってもよいと思う。			
2. ファミリーサポート事業について（具体的な利用料金の話は次回に先送り） （ファミサポのニーズについて） 夏休み・・・子どもが家庭で一人になる機会が増える 転勤族・・・親と子だけで住んでおり、祖父母が近くにいない 送迎・・・塾などのちょっとした送り迎えのための時間を作れない （他の町内の子育て関連サービスについて） 子ども館・・・夏休み期間、「学童が利用できない世帯」でも1日子どもを預けることができ助かった。午前9時からお帰りチャイムまで預けることができ、途中、学校のプールに行って戻ってくることもできる。			
一次回開催予定日ー 9月28日（水） 13：00～15：00 テーマなど：地域包括支援センター見学、地域（住民）のできる活動について			

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入でお願いします。